

大宰府展示館

DAZAIFU MUSEUM OF HISTORY



大宰府とは、日本古代律令国家の外交・軍事の一端を担い、かつ西海道（九州）全体を統括した、当時としては最大の地方官衙（役所）のことです。大宰府政庁跡はその中枢施設があった場所です。発掘調査の結果、7世紀後半から12世紀前半ごろまでの遺跡が確認されており、現在は史跡公園として整備されています。

太宰府といえば、太宰府天満宮が知られていますが、一方ここには多くの史跡が存在しています。大宰府政庁跡をはじめ、水城跡、大野城跡、観世音寺、筑前国分寺跡などがそれです。これら史跡の発掘調査は昭和43（1968）年に始まりました。

大宰府展示館は、この発掘調査によって確認された遺構を保存・公開するとともに、大宰府の歴史を紹介する展示を行っています。

◀大宰府政庁跡全景



- 開館時間** ●9:00～16:30
休館日 ●月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
 ●年末年始(12月28日～1月4日)
入館料 ●大人200円 大学生・高校生100円 中学生以下無料
交通のご案内 ●西鉄バス 博多バスターミナル発・福岡空港国際線ターミナル経由「大宰府政庁跡」バス下車
 ●福岡空港から車で30分
 ●JR二日市駅から車で10分
 ●西鉄都府楼前駅から徒歩で15分
 ●太宰府インターから車で5分
 ●まほろば号「大宰府政庁跡」バス停下車
 ボランティアの大宰府史跡解説員が史跡をご案内します(要予約)。

大宰府展示館

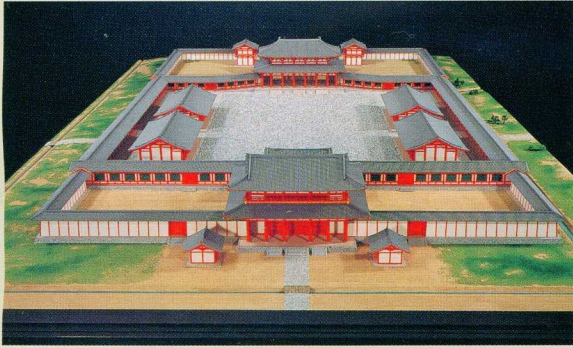
(指定管理者)
 公益財団法人 古都大宰府保存協会
 〒818-0101
 福岡県太宰府市観世音寺四丁目6番1号
 TEL(092)922-7811 FAX(092)922-9524
 URL : <http://www.kotodazaifu.net>
 E-mail : info@kotodazaifu.net



◀展示館外観

大宰府展示館 展示紹介

大宰府史跡から出土した様々な資料をはじめ、博多人形による「梅花の宴」ジオラマや復元模型などを展示し、古代大宰府についての歴史・文化を紹介しています。



▲大宰府政庁復元模型(九州国立博物館所蔵)
古代日本において、地方最大の官衙(役所)であった大宰府政庁には門、回廊、正殿、脇殿など瓦葺きの建物群があったと考えられています。模型は平安時代中頃の様子を復元したものです。



▲大宰府政庁周辺再現ジオラマ
◀条坊客館周辺再現ジオラマ
8世紀後半頃の大宰府の様子を知ることが出来ます。(製作:森野晴洋)

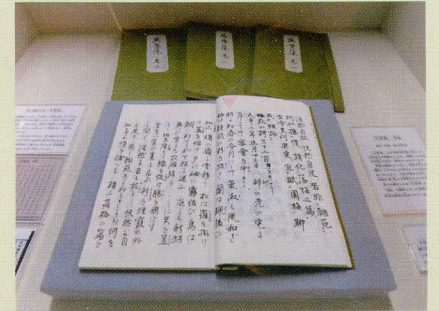


▲大宰府市周辺ジオラマ
大宰府政庁や街並み、大宰府防衛のために築かれた大野城・基肄城や水城といった史跡などの位置を分かりやすく表示しています。



▲博多人形による「梅花の宴」再現ジオラマ(製作:山村延輝)
新元号「令和」の典拠となった『万葉集』巻五にある「梅花の宴」の様子を、福岡県の伝統工芸である博多人形で製作したものです。天平2(730)年正月13日、大宰帥・大伴旅人邸で開かれた梅花を題とする歌宴の様子を華やかに再現しています。

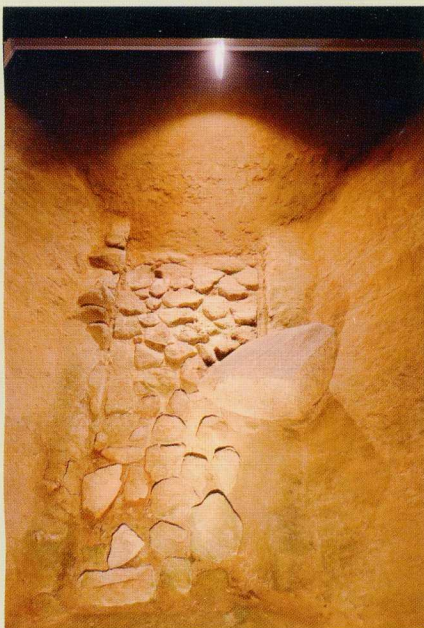
『万葉集』巻五
梅花の歌三十二首 序文
初春令月、気淑風和。
梅披鏡前之粉、蘭薰珮後之香。



▲『万葉集』写本(書写:陶山雪代)



▲「梅花の宴」での食事(再現)



◀玉石溝
西側展示室では奈良時代後半頃の石敷溝を発掘された状態のまま保存・公開しています。また、東側にも同様の素掘りの溝を保存・公開しています。

大宰府展示館 館内マップ

